



全力投球

石部中学校のようすを紹介します。

湖南省立石部中学校 学校便り NO8

石部中文化祭 11月6日(水)



熱中 夢中 石部中
～令和の時代に花を咲かそう～

生徒作品が多く展示され、飾り付けられた体育館にて、石部中学校の文化祭が行われました。開会行事のあと、最初に入権アピールが行われました。生徒制作の人権映画を全校で鑑賞しました。夏休み時期から、撮影に取りかかり完成した力作です。

「いじめ」のひどさや、いじめをなくすために立ち上がった少年の様子が描かれていました。全校生徒が真剣に見入っていました。次いで、石部保育園の発表でした。かわいい踊りと歌声に、会場がほのぼのとした雰囲気になりました。吹奏楽部の演奏では、かけ声あり、振り付けありと、全校生徒も立ち上がっての、会場と演奏が一体となった盛り上がりを見せました。パブリカの演奏では、石部保育園の園児たちも踊りだしました。

休憩展示見学をはさんでから、合唱コンクールがはじまりました。各クラスが、今まで練習をしてきた成果を披露しました。どのクラスも一生懸命さが感じられました。また、学年合唱では、どの学年も美しい歌声を奏でることができました。

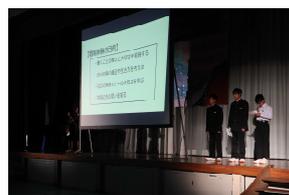
午後からは、講談師旭堂南湖さんにきていただき、楽しいひとときを過ごすことができました。生徒の代表の皆さんの講談体験では会場に笑い声があふれました。

「私の思い2019」発表では、3年生の永井優さんが、修学旅行で体験した東京パラリンピック日本代表を目指す佐藤さんのご家族の話から感じた「障がいのあるなしにかかわらず、すべての人が共に生きる社会の実現」を訴えました。

職場体験では、2年生の代表の皆さんが、実際に仕事を体験して感じた思いや、はたらくことの意義などを、映像を使いながらわかりやすく発表をしました。

壁際には多くの生徒作品が展示され、鑑賞している時間が足りないとの声も聞かれるほどでした。

楽しむところ、話をおちついて聞くと、生徒の皆さんがしっかり判断ができていました。特に合唱コンクールでは、歌っている学級はもちろん、鑑賞している生徒の皆さんの様子もすごくよかったと特別審査員の奥村先生からほめていただいています。





文化祭を終えての生徒の感想 「学級・学年・学校で今後にかせること、生かすべきこと」

体育祭でできた団結力をこの文化祭でもっと強くできたかなと思います。この団結力を保ったまま、これからの学校生活を過ごしたり、受験に向けみんなで頑張れるといいなと思います。また、人権映画で見たようないじめがおきないように、みんなが思いやりの心をもてるいいなと思います。 3年生徒

合唱コンクールを通して、たくさん声をかけてくれる頼れる存在の人が身近にたくさんいるなと感じました。そんな頼れる人がいて盛り上がるクラスの団結力をこれからの学校生活に生かしていきたいです。今回、合唱コンクールで感じた責任感を持つことと最後までやり遂げることの大切さを生かしていきたいです。 3年生徒

もし、間違えたとしてもみんなでカバーしあえたら大丈夫だと思いました。全校の前で歌ったり、伴奏したり、指揮をしたりするのはすごく勇気がいります。そういう場面では失敗することだってあります。でも、失敗とは決して悪いことではないと思います。「悔しい」という気持ちを作り「次は~のようにしたら成功する頑張ろう」と思わせてくれます。困ったとき、失敗したら周りに頼ることができる学級にしていけたらと思いました。3年生徒

今年の文化祭は、パートリーダーもして、去年以上にクラスの事について考えられたと思います。自分にとって、色々な事をして学べたこともあったので、今後にかせたらいいです。学年内で、金賞を取ということで燃えていたので不安でしたが、クラスの協力のおかげで金賞を取れたことで、よく頑張った(自分・皆)と思いました。 2年生徒

人権映画を見て、いじめは絶対してはいけないことだと改めて思って、自分の周りで、もしもいじめがおこってしまったら、雰囲気になれないようにしようと思いました。合唱でとても高まった団結力は学級でも学年でも大切にしたいです。これからもみんなで協力して、様々なことに取り組んでいきたいです。聞く態度は全員とてもよかったと思います。 1年生徒



グランプリ受賞の3年1組は、11/13(水)に湖南市小中合同音楽祭にて石部中学校の代表として合唱を披露しました。美しいハーモニーが甲西文化ホールに響きました。

合唱コンクールのグランプリ金賞の学級・伴奏者賞・指揮者賞のみなさん

グランプリ	3年1組		
金賞	1年2組	2年2組	3年1組
伴奏者賞	宮田 夢子さん	連 万彩さん	内山 和花奈さん
指揮者賞	下村 拓夢さん	大野 心愛さん	山本 竜也さん

駅伝競走大会

ブロック駅伝競争大会 11/7(木) 希望ヶ丘文化公園
男子Aチーム 5位 県大会出場 区間賞 1区 西村 悠さん
男子Bチーム 16位 女子Aチーム 11位
滋賀県駅伝競走大会 11/15(金)
男子チーム 29位 1区で、西村悠さんが区間3位の大健闘





保健委員会の活動、プルトップ回収に感謝状



「プルトップを集めて車椅子を贈ろう」という運動に協力し、保健委員会では全校に呼びかけをしていました。集めたプルトップは、朝日新聞滋賀県朝日会さんを通して車椅子購入に使われます。協力に対して感謝状が保健委員長に手渡されました。



生徒会新執行部決定 11 / 13 (水)

生徒会新執行部が決定をしました。今までの生徒会役員の皆さんと同様に、全校生徒の先頭に立って行動してくれることと思います。たくさんの仕事があり、大変ですし、責任も大きいですがよろしくお願いします。全校生徒の協力が不可欠です。石部中学生全員で協力しましょう。新生徒会のメンバーは次の通りです。

生徒会長	福田 大和さん	副会長	三吉 七海さん	副会長	下村 拓夢さん
栄養委員長	河津 莉玖さん	生活委員長	新 乃々葉さん	保健・安全委員長	紀平 暁太朗さん
体育委員長	里見 華威さん	図書委員長	小梶 杏さん	環境委員長	今田 宗志さん
執行委員	(書記) 石元 美憂さん	(書記) 山本 埜乃さん	(会計) 佐々木 舞さん		
	(会計) 前田 洋希さん	柴垣 莉央さん	小谷 真子さん		

～・～・～・滋賀県学校警察連絡制度についてのお知らせ～・～・～・～・～・～・～・～・～

湖南省では最悪の事態を想定して、慎重に、素早く、誠実に、組織的に対応することを旨とする「生徒指導事案に対する原則」を定め、各学校や関係機関において生徒の健全育成に努めています。複雑多様化する非行問題への対応は、学校のみならず、社会全体の重要かつ緊急の課題となっています。特に携帯電話の普及に伴う交友関係や活動の範囲の広域化は、学校単独で把握・解決できる範囲を遙かに超えた問題行動・犯罪行為につながっています。

そうした問題を未然に防ぐため、県教育委員会と県警察との申し合わせにより、すべての学校と県警察および各警察署の間での情報提供その他必要な連携を行うことにしています。この制度によって明らかになった問題行動も、内容や事実を確認の上、他の問題行動と同様に指導を進めていきますので、趣旨をご理解の上、ご協力をお願いします。

連携の対象となる情報

○警察が学校へ提供する情報

- ・逮捕もしくは児童相談所へ通告した事案
- ・飲酒、喫煙、暴力行為、窃盗、万引き、自転車横領、道路交通法違反、不正乗車、深夜徘徊などの法令、条例等で禁止されている事案

○学校が警察に提供する情報

- ・生徒の非行に係わる事案・インターネットを利用した生徒に係わる誹謗中傷、いじめ等の事案

指導に当たって（「生徒指導湖南省スタイル」より）

①対象児童の聞き取りを正確に行います。

②事実に基づき、反省を促す指導を行います。その後謝罪の場を設定します。

※保護者への連絡、協力を依頼することがあります。※器物破損については、原状復帰（弁償）をお願いしています。

③必要に応じ警察等の関係機関と連携し適切に対応します。～・～・～・～・～・～・～・～・～





学校は地域の方々に支えられています。（木工ボランティア、本の読み聞かせ、松の木の剪定など）



石部中学校には、多くの地域の方々がボランティアとしてかかわっていただいています。木工や朝読書、学校周りの環境整備にと大変お世話になっております。多くの方に支えられて、学校は活動できているのですね。

当面の行事予定



12/1 (土) 青少年育成大会
 12/13 (金) 学びの確認テスト 12年
 12/13 (金) ~12/19 (木)
 三者懇談会
 12/23 (月) 終業式
 12/24 (火) ~1/6 (月) 冬季休業
 12/25 (水) アンサンブルコンテスト



2/3、4 (月、火) 県内私学入学試験
 2/5、6 (水、木) 県内特色・推薦・スポーツ文化芸術推薦
 選抜
 2/19 (水) 学年末テスト①~③給食なし
 2/20 (木) ③までテスト
 (1,2年給食なし、3年③から授業)
 2/21 (金) 1,2年テストと授業



1/6 (月) 3年実力テスト
 1/7 (火) 始業式
 1/18 (土) 人権フェスタ
 1/26 (日) 湖南甲賀PTA講演会
 (石部文化ホール 10:00~)



3/10 (火) 公立高校入学検定
 3/14 (土) 卒業式
 3/16 (月) 振替休日
 3/17 (火) 公立高校合格発表
 3/24 (火) 修了式

サンタクロース (校長のつぶやき)

純真な少年であった私は、12月に入ると大変お利口さんになっていました。もちろんサンタクロースからプレゼントをもらうためです。母親から「サンタさんは、いつも、どうしているか空から見ている。そして、いい子にはプレゼントをわたす。」と教えられていました。日ごろの行いに多少の不安があった私は、「今からでもなんとか」と懸命にお手伝いに精をだしていたのを覚えています。ある年、夜に目が覚めたとき、枕元にプレゼントがなく「ぼくが悪い子だったから？」と泣きながら寝てしまったこともありました。翌朝、枕元にプレゼントを発見したときはたいへんうれしかったです。

時代はめぐり、私は3人の子の親になりました。クリスマスケーキを食べた後、3人のうちの誰かが「このケーキ、サンタさんにもあげる。」と言い出しました。「サンタさんきっと喜ぶね。」テーブルの上に一人分のケーキが置かれました。「これ、サンタさんのってわかるかな?」「うーん、誰かの分と思うかもね。」「手紙かく!」長女が中心となってサンタさんへの手紙が完成しました。「ありがとう」とか「食べてください」とか書かれていたように思います。

さらに時代はめぐり、今はプレゼントをもらうことも、準備することもなくなりました。ケーキもショートケーキ二つですますようになりました。

今まで結構、真面目に生活してきました。(と自分では思っています。) 12月にはいると、今でも「良い行いをしなければ」という思いがでてくるような気がしています。絶対にありえないけど、「枕元にプレゼント置かれていないかな。高級品でなくてもいいから。」「『ちゃんと真面目にがんばっていたな』認めてもらえたらうれしいな。」いくつになっても、そんな気持ちになります。中学生ならなおさらでしょう。私は、石部中学生の頑張りをしっかり認めることのできる大人でありたいと思います。さすがにプレゼントまでは無理ですが。

そうそう、サンタさんへのケーキは、私がしっかり食べましたとき。手紙の返事も書きましたとき。

